

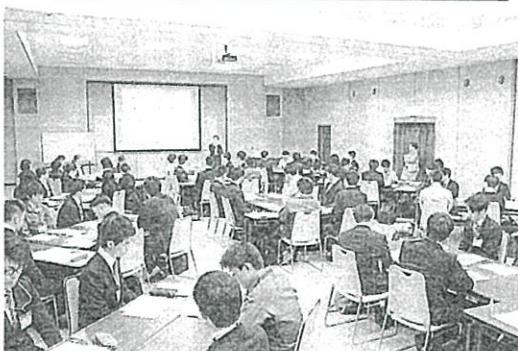
府建設業協会

会員企業対象に新人研修 業界の基礎知識学ぶ 会社枠を超える人脈づくりも

（社）京都府建設業協会（小崎会長）が主催する2019年度新入社員研修が17・18日の2日間、亀岡市の旅館「京都・烟河（けぶりかわ）」で開かれ、会員企業の新入社員64人が参加した。



講師の田辺氏 挨拶する絹川委員長



亀岡市内で開かれた新人研修



グループワークで自己紹介をする参加者

川雅則委員長は、「我々の業界は代表的な建築物や基幹的なインフラに携わる場合にスポーツトライトを浴びることもあるかもしれないが、一回りがたい。優れた経験値を得るために、会社の枠を超えた人脈づくりに努めた。

開催にあたって府建協労務経営委員会の絹川雅則委員長は、「我々の業界は代表的な建築物や基幹的なインフラに携わる場合にスポーツトライトを浴びることもあるかもしれないが、一回りがたい。優れた経験値を得るために、会社の枠を超えた人脈づくりに努めた。

研修の初日は、京都サンダードのキャリアカウンセラー、田辺直子氏が社会人に必要なビジネスマナーやビジネスコミュニケーションについてグループワークで実践的形式で講義。参加者は、初対面同士で戸惑いながらも徐々に打

ち解け、楽しみながら学んでいた。2日目は、ランバス代表取締役の東和博氏（1級土木施工管理技士）が建設業や安全管理の基礎知識などについて話を始めた。

府建協のこの取組は、25歳以下または入社5年以内の者を対象に、建設業界への理解を深め、チームワークの大切さなどを学ぶために毎年開催している。一泊二日の合宿形式で、寝食を共にするため、交流がより深まる」と評判を呼んでいる。今回の参加者数はここ十数年で最多となつた。

